

8 中皮腫センター



平成29年4月に組織の再編成を行い、「中皮腫センター」の名称で中央診療施設へ参画し、従来の「中皮腫・アスベスト疾患センター」の機能をより拡大して継承することとなった。「中皮腫センター」は、呼吸器内科及び呼吸器外科のスタッフが共同で運営・診療に従事しており、一層の診療体制の強化、効率化に努め、より良い医療を実践する。入院・治療を要する場合には、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、病理学（分子病理部門）、病院病理部との連携で診療を進めている。本邦においては、今後も長期間、アスベスト関連疾患・中皮腫の増加が予想されており、当センターを社会的責務を担う重要な拠点と位置付け、体制を一層強化していく。

[診療内容・専門分野]

(1) 胸部悪性腫瘍、アスベスト関連悪性腫瘍（中皮腫、肺癌）：診断及び治療方針は、合同カンファレンス（呼吸器腫瘍評議会）において十分に検討し、専門的に決定する。治療に関しては、組織型、合併症の有無、全身状態を考慮した最適な治療法を提供している。日本中皮腫研究機構(JMIG)、石綿・中皮腫研究会の一員として、中皮腫に関する多施設共同臨床試験を企画・参加し、新しい治療法の開発にも注力している。医療福祉については、アスベスト関連の職業歴のある場合は労災申請に、職業歴のない場合は石綿救済法申請にて対応している。また、セカンドオピニオンを随時受け付けており、経験豊富なシニアスタッフが対応している。

(2) アスベスト関連良性疾患：石綿肺、良性石綿胸水、びまん性胸膜肥厚、円形無気肺等のアスベスト関連良性疾患・胸膜プラークについては、悪性腫瘍の併発の有無を精密に確認している。経過観察を厳重に行い、病変の出現時には適切に治療を開始している。

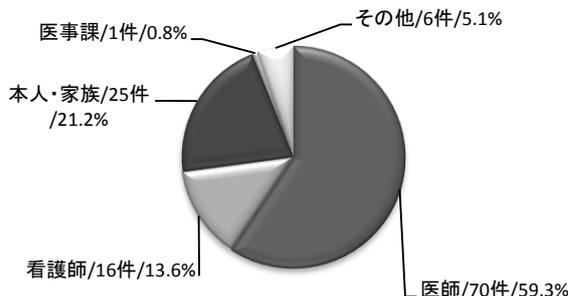
(3) その他の胸部腫瘍（胸部悪性疾患、縦隔腫瘍など）：上記以外の縦隔腫瘍についても診療している。診断および治療方針は、呼吸器腫瘍評議会において十分に検討を行い、患者さんに最適な治療法を提供している。

8-1 年度別延受診者数

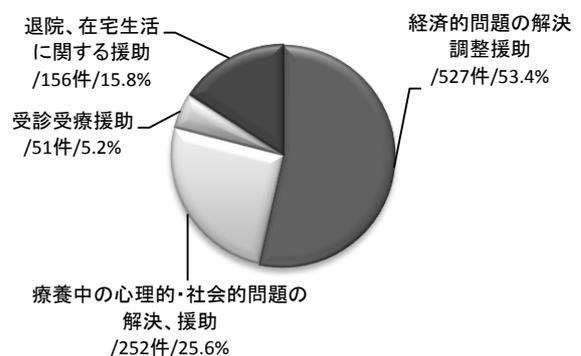
(人)

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度 構成比率(%)
手帳健診	565	553	554	549	512	60.7
西宮・尼崎市健診	142	264	194	180	153	18.1
アスベスト健診	27	38	24	25	64	7.6
院外紹介	63	76	64	104	48	5.7
院内紹介	5	1	3	2	6	0.7
セカンドオピニオン	16	14	14	21	10	1.2
医療相談	3	2			2	0.2
その他	45	30	39	32	49	5.8
合計	866	978	892	913	844	100.0

8-2 29年度相談・支援活動・紹介経路の構成比率(合計118件)



8-3 29年度相談・支援活動・援助内容の構成比率(合計986件)



8-4 29年度診断名の構成比率(合計844件)

